EDUCATION IN KYOTO PREFECTURE

京都府の教育

2010







京都府の概要

(平成22年4月1日現在)

Outline of Kyoto Prefecture (As of April 2010)

- ○人 □ Population 2,625,015人
- ●世 帯 数 Households 1,124,248世帯
- ●市町村数 Municipalities 15市10町1村 15 cities 10 towns 1 village
- ●面 積 Area 4,613,13k㎡

平成22年

窓 京都府教育委員会

KYOTO PREFECTURAL BOARD OF EDUCATION

教育委員会の機構・予算 Organization and Budget

■教育委員会の機構

Organization of the Prefectural Board of Education

平成22年5月26日現在

教育委員会 Board of Education

教 育 長 Superintendent

教育次長 (学校安全対策監) Assistant Superintendent

総務企画課 General Affairs and Planning Division 管 理 部 管理課 Facilities Division Department of Administration 教職員課 Educational Personnel Division 福利課 Educational Personnel Welfare Division 学校教育課 School Education Division 人権教育室 Human Rights Education Office 導 部 指 Department of 特別支援教育課 Special Education Division Guidance 高校教育課 High School Education Division 教育企画監 Director General of Educational Policy 保健体育課 Health and Physical Education Division

地方機関

- ■乙訓教育局
- Otokuni Regional Education Office
- 山城教育局 Yamashiro Regional Education Office
- ●南丹教育局
- Nantan Regional Education Office 中丹教育局
- Chutan Regional Education Office
- ●丹後教育局 Tango Regional Education Office
- ●埋蔵文化財事務所 Archaeological Research Office

●府立学校(高等学校及び附属中学校、特別支援学校) Prefectural Schools (Senior High Schools and Affiliated Junior High Schools, Schools for Special Education)

理 事 (高校改革担当)

Senior Director

- ●総合教育センター Education Center
- 総合教育センター北部研修所 Northern Branch of Education Center
- ●府立図書館 Prefectural Library
- ●府立南山城少年自然の家
- Minamiyamashiro Youth Outdoor Education Center 府立るり渓少年自然の家
- Rurikei Youth Outdoor Education Center
- ●府立山城郷土資料館 Yamashiro Regional Museum
- ●府立丹後郷土資料館 Tango Regional Museum

附属機関

- ●京都府教科用図書選定審議会 Textbook Selection Council
- ●京都府産業教育審議会 Industrial Education Council

社会教育課 Continuing Education Division

文化財保護課 Cultural Properties Division

- 京都府スポーツ振興審議会 Sports Promotion Council
- 京都府社会教育委員 Continuing Education Committee
- ●京都府文化財保護審議会 Cultural Properties Preservation Council

%()/±%

■平成22年度教育委員会所管予算(当初)

Board of Education Budget for the Fiscal Year 2010

Unit: hundred million ven 《支出項目別》 《性質別》 《財源別》 Allocation of Funds Source of Funds 文教課所管分 Private Education 国庫支出金 389(4.6) National Funds 労働費 92(1.1) (18.0)教育委員会所管分 衛生費 167(2.0) 小学校費 その他 Public Education Elementary その他 農林水産業費 701 (8.2) 1.979(23.3) (36.4)Others Education 189(2.2) (8.1)総務費 (27.9)414(4.9) 中学校費 人件費 歳出総額 Lower Personnel 十木費 一般財源 Total Pref. Gov't Secondary (92.3)696(8.2) Prefectural Expenditures (20.8)General 8,493億円 高等学校費 警察費 Funds 民生費 Upper 795(9.4) (73.9)1,193(14.0) Secondary 公債費 (18.4)901(10.6) 商工費 977(11.5) 教育総務費(11.6) 本資料に掲載したグラフ・表のうち、京都府の状況については、 原則として、京都府立の学校・教育機関及び、京都市を除く市 町村が設置した学校に関わるものです。 General Affairs on Education 特別支援学校費(11.0) 保健休育費(0.5) Schools for Special Education This pamphlet provides information on the schools and educational facilities of the Kyoto Prefectural Government and the Health and Physical Education 事業費 Operations Expenditures (7.7) 文化財保護費(0.9) 社会教育費(O.4) Cultural Properties Preservation schools of the local governments in Kyoto Prefecture (excluding the separate educational mandate of the Kyoto City Government)

Continuing Education

「京の子ども、夢·未来」プラン2 1 -京都府の教育改革-

Bright Way Forward: 21 Blueprints for Students — Educational Reform in Kyoto Prefecture

夢や希望を持って世界にはばたく人づくり

「『京の子ども、夢・未来』プラン21 (4つの柱、7つの重点目標、21の主要施策)を指針として 時代の進展等に対応した京都府の教育改革を計画的・総合的に推進します。

きらきらひとみ・授業プラン

- ①基礎·基本を徹底して学力の充実·向上を図ります。
- ②京都式少人数教育など一人一人を大切にする教育を充実します。
- ③進路希望を実現する能力や意欲・態度を育てます。

学力の充実・向 上と個性や能力 の伸長を図る教 育の推進

未来デザイン・応援プラン

地球みらい・創造プラン

- ④多様で柔軟な教育システムによる特色ある高校教育を推進します。
- ⑤ノーマライゼーションの進展などに対応した特別支援教育を推進します。
- ⑥国際社会に生きる人材を育てる国際理解教育を推進します。
 - ⑦循環型社会を目指す環境教育を推進します。
 - ⑧IT時代にふさわしい情報教育を推進します。
 - ⑨本物と最先端にふれる科学技術教育を推進します。

豊かな人間性の 育成と健康や体 力の向上を図る 教育の充実

あったかハート・元気プラン

- ⑩道徳教育や豊かな体験活動の推進、「京の子ども 明日へのとびら」の活用 などにより心の教育を充実します。
- ⑪豊かな心をはぐくみ、国語力を高める読書活動を推進します。
- ⑫スクールカウンセラーの配置など心の教育のサポート体制を充実します。
- ⑬「共生社会」の実現に向けた人権教育を充実します。
- ⑭文化財の保護·活用を図るとともに、芸術文化活動を充実します。
- ⑮「する·みる·ささえる」スポーツ活動と健康教育を充実します。

がんばる先生・支援プラン

- ⑥教員の意欲を高め、指導力の向上を図る研修などを充実します。
- ⑪教職員の資質·能力を高める教職員評価制度などの取組を充実します。

- 府民の信頼を高 める学校づくり
- 安心・信頼の学校推進プラン
- ®安心·安全な教育環境づくりを推進します。
- ⑨学校評議員制度や保護者などの声を生かした学校評価の実施などにより、 開かれた学校づくりを推進します。

- 家庭·地域社会 の教育力の向上
- 子育て・コミュニティ育成プラン
- ②子育てに関する学習機会など家庭教育への支援を充実します。
- ②地域社会全体で子どもを育てる環境づくりへの支援を充実します。

「まなび教育推進プラン」

平成 21 年度の検討会議では、新たに取組を始めた「『ことばの力』育成プロジェクト」、「中1振り返り集中学習~ ふりスタ〜」の実施状況や「子どものための京都式少人数教育」の中学校への拡充について協議していただき、以下の ような施策を推進しています。

本年度は、「子どものための京都式少人数教育」の中学校への拡充などについて引き続き検討していきます。



平成 22 年度の主な施策

「ことばの力を鍛える」総合的な取組の推進

●「ことばの力」育成プロジェクト

- ・小学校入学前から小・中学校、高校までを見通し、あらゆ る教育活動の中で「ことばの力」を向上させるプログラム を開発しています。(府内幼小中高23校を研究指定)
- ・本年度は、昨年度の研究成果(小1ようい・どんDVDや 「ことばの力」育成プログラム等)を活用し、参加体験型研 修の実施等により府内の学校に成果の普及を図ります。

●「ことばの力」を支える学校図書館機能の充実

- 「学校図書館機能充実ガイドライン」を活用し、読書セン ターや学習情報センターとしての機能を充実します。
- ・調べ学習等に役立つ「テーマ別図書リスト」を活用し、読 書活動の内容の充実を図ります。

家庭で育てる「ことばの力」

「親と子の言葉の栞(しおり)」の活用を促進します。

中学生の基本的な生活習慣の確立や 学習習慣の定着を図る取組の推進

●小・中学校の円滑な接続と学習意欲の向上

- 「中1振り返り集中学習(ふりスタ)」の実施 中学1年生の早い段階に、基礎・基本を徹底し、学習の つまずきの解消を図ります。
- 「チャレンジ学習」の実施 各種検定等の手法を活用したチャレンジ学習を通じて学 習意欲の向上を図ります。

●基本的生活習慣や学習習慣の確立

まなびアドバイザーを配置 児童生徒に基本的な生活習慣を確立し、学習習慣の定着 を図る取組を支援するため「まなびアドバイザー」を配 置しています。中学校には、社会福祉の専門家などを配 置し、福祉関係機関と連携して組織的かつ継続的に、生 徒や家庭への支援を行います。

A 学力の充実・向上と個性や能力の伸長を図る教育の推進

1 きらきらひとみ・ 授業プラン

Projects to Stimulate Students with Motivational Classes



確かな学力の向上と自己実現

Improvement of Solid Academic Abilities and Self-realization

基礎・基本を徹底して、学力の充実を図り、「生きる力」を育てる授業 Quality Lessons that Ensure Acquisition of Basic Abilities and Skills, Improve Academic Abilities and Foster 'Zest for Living'

学力の充実・向上に向けた各学校の取組を支援するため、現地現場主義に基づく先導的な研究開発や実践研究の推進、成果の普及による学力及び教職員の指導力の向上等に取り組んでいます。

平成19年度から、全国学力・学習状況調査における京都府の課題を分析・考察して、「学校改善支援プランー質の高い学力を求めて一」などの資料を作成し、各学校での学力の充実・向上の取組を進めています。

京都府教育委員会が指定する「京のこども、夢・未来校」には、各学校が企画・立案する学力向上プログラムをもとに公募する「学力向上公募校」や、各教育局で管内の実情に沿った課題を設定して指定する「教育課題対応校」、新学習指導要領に具体的に対応する「単元指導パッケージ」の開発に取り組む「カリキュラム開発校」、「ことばの力」の育成を図るための学習指導プログラムを開発する「『ことばの力』育成プログラム開発協力校」があります。これらに加え、今年度からは「中学校学力向上実践校」と「外国語活動実践研究校」を指定し、中学生の学力充実・向上と小学校における外国語活動の円滑な導入を図ります。

さらに、平成21年度から中学校における学力の充実・向上を目指し、円滑なタテの接続を図る取組として小学校段階の基礎・基本を徹底する「中1振り返り集中学習(ふりスタ)」や、各種検定等の手法を活用して学習意欲の向上を図る「チャレンジ学習」を実施しています。

また、児童生徒の学習状況を的確に把握・分析することによって 課題を明らかにしながら、指導内容や指導方法などを工夫・改善 し、学力の充実・向上を図ることをねらいとして、小学4年生と6年 生、中学2年生において、「小学校基礎学力診断テスト」(国語・算 数)「中学校学力診断テスト」(国語・数学・英語)を実施していま す。

さらに、児童生徒の学力向上の基盤となる生活習慣の確立と学習習慣の定着に向けた取組を一層推進するため、福祉関係機関などと連携して継続的に子どもやその家庭を支援する「まなびアドバイザー」を配置しています。

In order to support each school's endeavors to enhance their students' academic abilities, the Kyoto Prefectural Board of Education has been promoting educational research and development in local schools and disseminating the successful methods and results with a view to improving teachers' teaching skills and enhancing students' academic abilities.

Since 2007, we also have been promoting strategies to enhance the quality of students' academic performances, analyzing the results of a national survey of academic abilities and learning processes, and clarifying the problems and challenges in Kyoto Prefecture, as well as creating resources to assist schools in improving their performance.

Among the schools designated for educational research and development by the Prefectural Board of Education are the following: School for Effective Development of Academic Ability, for which schools can make their own plans and apply for designation; School Investigating Strategies to Respond to Current Educational Challenges, designated by regional education offices; Curriculum Development Schools which develop unit packages with a view to responding to a revision of the Course of Study of the Ministry of Education, Culture, Sports , Science and Technology; and Language Ability Training Development Schools, which develop academic guidance programmes aimed at increasing language ability. In addition, in FY2010, we plan to designate Academic Improvement Enactment Junior High Schools and Foreign Language Activities Research Schools in order to improve the academic ability of junior high students and implement the smooth introduction of foreign language activities at elementary schools, respectively.

Since FY2009, with a view to enhancing students' academic abilities in junior high schools, we have been implementing "intensive learning" for 7th graders, which helps to review the basics of learning in elementary schools, as well as "challenge learning," which motivates students to learn.

We also conduct diagnostic tests of basic academic abilities of 4th and 6th graders (Japanese language and arithmetic in elementary school) and diagnostic tests of academic abilities of 8th graders (Japanese language, mathematics, and English language in junior high school).

Furthermore, we appoint advisors for learning, who will continuously support students and their families in cooperation with welfare organizations, for the purpose of forming learning habits and a lifestyle that form the basis for enhancing students' academic abilities.

子どものための京都式少人数教育

Improving the Student-Teacher Ratio – Implementation of 'The Kyoto System'

義務教育9年間を見通し、児童生徒や学校の実態に即して、一人一人の児童生徒に確かな学力を定着させるために必要な教員を配置しています。小学校1・2年生では、30人を超える学級を基本として、2人の先生によるきめ細かな指導を進めています。また、平成20年度から、小学校3年生から6年生までにおいて30人程度の学級編制が可能となる教員を配置し、学校や児童生徒の状況などに応じて、少人数授業やティームティーチング、少人数学級を市町(組合)教育委員会の判断で選択して実施できるようにしています。平成17年度からは、中学校1年生の30人を超えるすべての学級で英語・数学の少人数教育を充実しています。

During the 9-year compulsory education period, we apply 'The Kyoto System for an Improved Student-Teacher Ratio' so that each student can acquire and enhance their academic abilities. Basically, the team-teaching system is adopted for grades 1 and 2 of elementary school. Starting in FY2008, we deliberately assigned teachers in such a way to make homeroom classes of approximately 30 students possible for grades 3-6, thereby enabling each municipal board of education to select the most appropriate teaching system, such as small group lessons, team-teaching lessons, or small homeroom classes, depending on the characteristics of the school. Since FY2005, small group lessons have been provided for English and mathematics for 7th graders in junior high school if the number of students in a class exceeds 30.

▶ 進路意識を高める高大連携の推進

Promoting Collaboration Between Senior High Schools and Universities so as to Raise Students' Awareness about their Future Career Options

大学コンソーシアム京都との連携事業を進めるとともに、京都府教育委員会として20大学と包括協定を結び、高大連携を推進しています。高校生が大学の先生から様々な講義を受ける機会を設けたり、教職を目指す大学生を教育ボランティアとして活用したりすることによって、学ぶ意欲や進路意識を高める取組の充実を図っています。

また、京都大学大学院理学研究科の協力を得て、中高生を対象とした京都数学グランプリや物理グランプリを実施するなど新たな連携にも取り組んでいます。

While promoting cooperation with the University Consortium Kyoto, the Kyoto Prefectural Board of Education concluded comprehensive agreements for collaboration with 20 universities in order to further promote collaboration between senior high schools and universities. As a result of this, senior high school students can take part in a variety of specialized lectures provided by university professors. Senior high schools can also utilize volunteer students from universities. This allows senior high schools students to strengthen their motivation to learn and raise their awareness of career options.

In addition, we are promoting new projects such as Grand Prix in Mathematics and in Physics for junior high and senior high students in cooperation with the Graduate University of Science in Kyoto University.



高大連携 (府立東宇治高校)

2 未来デザイン・応援プラン Projects to Assist with Students' Plans for their Future

多様な個性や能力の伸長 Valuing Individual Characteristics to Develop Personality and Diverse Competences

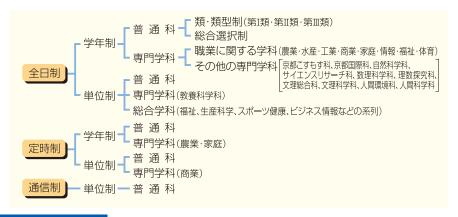
高校教育 Upper Secondary School Education

府立高校の教育制度

Kyoto Prefectural Upper Secondary

府立高校では、生徒一人一人の個性 や能力を最大限に伸ばすため、多様な 学科、類・類型、系統を設けています。

Prefectural Upper Secondary Schools have a variety of courses designed to value and develop each student's individual characteristics and full potential.



府立高校改革の推進

Promoting Reform in Kyoto Prefectural Senior High Schools

現在、府立高校は、国際化、情報化、高齢化などの社会の変 化、生徒の個性化・多様化の進行、生徒の減少に伴う学校の小規 模化など多くの課題に直面しています。また、21世紀社会で は、高度化、複雑化した社会をたくましく生き抜き、様々な分野 において主体的・創造的に活躍する人材が求められています。

こうした課題や社会の要請に応えるため、京都府教育委員会で は、府立高校改革の基本的な考え方や施策の骨組みを示すため、 「中学生から選ばれる高校づくり・希望する高校を選べるシステ ムづくり」と「活力ある多様な教育活動が展開できる学校規模の 適正化・適正配置」を観点とする「府立高校改革推進計画」を策 定して、中高一貫教育の実施、入学者選抜制度の改善、専門学科 の充実など具体的な取組を進めるとともに、山城地域において は、高校の再編整備による新たな魅力ある学校づくりを進めてき ています。

At present, prefectural senior high schools face the following challenges: globalization, a rapidly aging and information-based society, individualization and diversification of students, and difficulties caused by the reduction of school size due to the declining numbers of student enrollment. In the 21st century, it is necessary to nurture and cultivate talented human resources who will be creative and active in various fields of our increasingly advanced and complex society.

In order to clarify the basic policies of prefectural senior high school reform, the Kyoto Prefectural Board of Education formulated a 'Reform Promotion Plan for Prefectural Senior High Schools' with the following views: making senior high schools more attractive to junior high school students, allowing junior high school students greater opportunities in terms of applying for senior high schools, and ensuring optimal school size and enrollment to enable educational activities of various kinds. Under this plan, the following concrete measures are taken: a unified junior and senior high school education system, an improved admission selection system for senior high schools, the improvement of specialized subject courses, and the restructuring of senior high schools in the Yamashiro school district.

ノーマライゼーションの進展等に対応した特別支援教育

Special Support Education for Normalization in Education

発達障害を含め、障害のある幼児児童生徒一人一人の教育的二 一ズに応じ、生涯にわたって心豊かでたくましく生きる力を培う 特別支援教育を進めています。

幼・小・中・高校においては、校内委員会の設置や特別支援教 育コーディネーターの指名など、障害のある幼児児童生徒を学校 全体として支援する体制の充実に努めています。

また、府立特別支援学校では、障害の重度・重複化及び多様化 に対応した専門的な教育機能の向上に努めるとともに、地域の特 別支援教育のセンター的機能を果たすため、医療・保健・福祉・ 労働等関係機関と連携しながら、幼・小・中・高校等への巡回相 談や府民への教育相談などを実施しています。

We promote special support education to meet the individual needs of children and students with disabilities, including developmental disorders, in order to foster the strength necessary to live a rich and positive life.

In kindergartens, elementary, junior high, and senior high schools, each individual school sets up a committee and appoints special education coordinators to improve the support system for students with disabilities.

Prefectural special support education schools function as central, and local institutions for special support education and offer consultation visits to kindergartens, elementary, junior high, and senior high schools in collaboration with medical, health, welfare, and labor institutions.



ふれあい · 心のステーション (府立桃山養護学校)

3 地球みらい・創造プラン Projects to Enhance Global Awareness

社会の変化に適切に対応する能力の育成

Cultivating Abilities and Skills in Students to Meet the Demands of a Changing Society

国際社会に生きる人材を育てる国際理解教育 Education for International Understanding

国際社会に主体的に生きる日本人の育成という観点から、外国人との交流等の実践的な活動を通して、児童生徒一人一人が広い視野を持ち、自国及び世界の文化や伝統について理解し尊重する態度や、異文化を持つ人々と共に生きる資質や能力をはぐくみます。

With a view to fostering Japanese people who can live a proactive life in an international community, we offer several educational opportunities. For example, we offer exchanges with people from overseas to enable students to broaden their mental horizons and cultivate an attitude of understanding and respect for the cultures and traditions of both Japan and foreign countries. We aim to foster the abilities and skills necessary to living alongside people from different cultural backgrounds.



外国語活動(亀岡市立西別院小学校)

持続可能な社会をつくる環境教育の推進 Environmental Education for a Sustainable Society

持続可能な社会をつくる環境教育を推進し、学校・家庭・地域社会が連携して環境保全やよりよい環境の創造のために、児童生徒が主体的に行動できる態度や能力を育てます。

We promote environmental education in an effort to create a sustainable society. Schools, homes, and communities cooperate to cultivate in children and students the proactive attitudes and skills to necessary to preserve and improve the environment.



雨水調査(府立久美浜高校)

IT時代にふさわしい情報教育

Information Education for the IT Age

IT時代を担う子どもたちが情報モラルの必要性を理解し、情報社会に参画する態度などの情報活用能力を身に付けるとともに、情報機器を活用した魅力ある授業や交流学習などの学習機会を通して、確かな学力を築き、新しい時代をたくましく生きる力をはぐくむ施策を展開します。

Policies are in place to raise students' awareness of the importance of information ethics and to have students acquire information literacy, including a positive attitude towards participation in an IT society. Also, we aim to encourage zest for living in a new age by fostering academic abilities through attractive lessons and exchange activities utilizing ICT devices.



情報の授業(府立京都すばる高校)

本物と最先端に触れる科学教育

Exposing Students to Cutting-Edge Technologies in Science Education

理数系分野において、第一線で活躍する研究者・技術者を学校に招いて実施する「特別講座」や、生徒が大学や研究機関、企業等を訪問し、大学教授等から直接指導を受けるなど、より高度な実験・実習や最先端の科学技術を体験する取組を実施しています。

このような活動を推進するため、国が進める次世代を担う若者への理数教育の充実に関する施策の一環である「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」、「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」等を積極的に活用しています。

As a part of efforts to promote science education, students are offered special programmes conducted in their schools by leading researchers and engineers. They also have opportunities to visit universities, research institutions, and companies to receive direct instruction from university professors, etc. These efforts will allow students to experience advanced laboratory experiments and cutting-edge technologies.

In order to further promote such educational activities, we utilize 'Super Science High School (SSH)' and the 'Science Partnership Project (SPP)', which are parts of a national government policy to promote science and technology education.



スーパーサイエンスハイスクール(府立洛北高校)

豊かな人間性の育成と健康や体力の向上を図る教育の充実

4 あったかハート・元気プラン

Project to foster compassion and empowerment

豊かな人間性の育成と健康教育の充実

Cultivating Rich Humanity and Improving Health Education

心に響く道徳教育 Effective Moral Education

豊かな人間性や社会性を培うことを目指し、学校の教育活動全般を通じ、児童生徒の願いや課題、それを取り巻く今日の状況を考慮しながら、人間としてよりよく生きようとする意欲や自覚、道徳性をはぐくんでいきます。心の教育の充実に資する京都府独自の学習資料集「京の子ども 明日へのとびら」を、「活用事例集」も添えて、府内の小・中学生に配付しています。京都に関わりがあり、各分野で活躍中の執筆者による書き下ろし文を中心に、人間にとって不易のテーマを子どもとともに大人も学び合うことができる資料集となっており、学校・家庭・地域等において幅広い弾力的な活用を図っています。

また、各界の著名人を府内の小・中学校に派遣し、心に響く授業を行う 「京の子どもへ夢大使派遣事業」(「明日への夢大使」派遣事業)を実施するなど、道徳教育の充実に努めています。

With fostering a well-rounded character and good social skills as a goal, students are encouraged through all educational activities at schools to develop high morality and to mature as individuals in order to live a better life. The Kyoto Prefectural Board of Education distributes original moral study booklets entitled Children of Kyoto –Vision for



Tomorrow to elementary and junior high schools in Kyoto Prefecture. It is a compilation of essays about life written by renowned people who have close connections to Kyoto. It is expected to be read and utilized in schools, families, and local communities.

Furthermore, prominent people in various fields give lessons at elementary and junior high schools to enrich the quality of moral education.

ボランティア活動等の体験活動

Social Action Programmes

府立高校、特別支援学校の児童生徒が、様々なボランティア活動により、地域の人々との交流やふれあいを通して、社会参加に取り組んでいます。

Students of prefectural senior high schools and schools for special support education are encouraged to interact with



ボランティア活動(府立園部高校)

people in the community through various volunteer activities, such as fund-raising campaigns.

子どもの読書活動の推進 Promotion of Children's Reading Activities

平成22年1月、5年間の取組の成果や課題を踏まえて「京都府子どもの読書活動推進計画」の改定(第二次推進計画)を行いました。

第二次推進計画では、読書を通じて、質の高い学力の基盤 となる言語力を育成するとともに、感性を磨き、想像力や表現 力の豊かな子どもを社会全体で育成することを目指します。

今年度は、今まで実施してきた「子ども読書絵でがみコンテスト」「声に出して読もうin京都〜古典の日〜」等を継承、発展させ、学校・家庭・地域等のさらなる協力のもと、「読書が好きだ」と子どもたちが感じるような読書活動の推進を図ります。

In January 2010, we revised 'The Plan for Promoting Children's Reading Activities in Kyoto Prefecture' after reviewing the accomplishment and issues of the last five years.

In this second promotion plan, we aim to use reading activities to develop children's language skills. Language skills serve as a basis for high academic achievement, and we hope to encourage all of society to help foster well-rounded, sensitive children with imagination and expression abilities.

In this fiscal year, with the further cooperation of schools, families, and local communities, we will continue to promote events such as 'The Children's Picture Post Card Contest' and 'Let's Read Classics Aloud in Kyoto on the Day of Classics' to promote children's reading activities and encourage the love of reading.

「豊かな心」をはぐくむ体験活動 Hand-on-Activity to Nurture 'Mind and Spirit'



体験学習(京田辺市立培良中学校)

府内の全小・中学校で、身近な施設や事業所などにおける仕事探求や職場体験など、「豊かな心」をはぐくむ体験活動を推進しています。また、受け入れる企業等を登録する「職場体験活動情報バンク」を設置し、地域ぐるみで子どもたちの豊かな人間性を育成する活動を支援しています。

All elementary and junior high schools have programmes that enable their students to gain work experience in a variety of fields, including, for example, company offices, institutions, or workplaces in local communities. 'The Bank of Companies Supporting Students' Work Experience' (a directory of the companies that support the programme) has proven effective in promoting support for the education of young people in local communities.

人権教育 Human Rights Education

学校教育においては Human Rights Education in Schools

教育の機会均等を図り、学力の充実や進路保障に努めるなど、一人一人を大切にした教育の推進を図っています。また、基本的人権や同和問題などの様々な人権問題について正しい理解を深め、自己を尊重し、他者を尊重する態度や実践力を培う教育を進めています。研究推進地域等においては学習内容や指導方法の工夫・改善を行い、その成果を府内の全ての学校に広めるなど、積極的な研究実践活動を推進しています。さらに、教職員の指導力向上を図るため、京都府総合教育センターや各学校において研修を行っています。



人権教育研究大会公開授業 (木津川市立木津小学校)

健康安全教育 Health and safety education

学校において安心・安全な環境を確保し、児童生徒の心身の健康を守り、はぐくみ、正しい知識と望ましい実践的態度を培うため、学校保健、食育、学校給食、学校安全に関する様々な課題に対応した事業や専門家による研修会を実施しています。

We conduct various programmes and professional training seminars concerning school health, dietary education, school meals, and school safety in order to ensure a safe school environment where we can nurture the minds and hearts of our children and students, securing their mental and physical health.



遊びの様子(久御山町立御牧小学校附属幼稚園)

We promote education that provides equal opportunities in education, enhances academic abilities, and secures future career options for every child. We also aim to foster respectful attitudes towards human rights by assisting students gaining an appropriate recognition of fundamental human rights and human rights issues, including dowa issues. In designated areas, schools engage in research and development of teaching methods and materials, and then disseminate successful results to all schools in the prefecture. In order to further improve teaching skills, various kinds of training and seminars are held at the Kyoto Prefectural Education Center as well as at schools.

社会教育においては Human Rights Education in Society

個人の尊厳と人権が尊重される社会の実現を目指し、人権尊重の 理念や、同和問題など様々な人権問題についての正しい理解と認識 を深めるとともに、府民の実践につながる自発的な学習活動の促進 に努めています。

また、あらゆる場や機会に人権教育を推進できる指導者の養成・ 資質の向上を行うため、市町村の人権教育関係者等を対象とした研 修を実施しています。

Aiming at the realization of a society where individual dignity and human rights are respected, efforts are being made to deepen people's understanding and recognition of the principles of respect for human rights and related issues, including dowa issues. Citizens' voluntary learning activities are also promoted.

In addition, so as to nurture and improve the quality of social leaders who can promote human rights education at every opportunity, we implement training seminars for local parties concerned with human rights education.



給食の時間における食育の様子(大山崎町立大山崎小学校)

幼稚園教育 Kindergarten Education

幼稚園では、自発的な活動としての遊びを通じて、総合的な指導により人間形成の基礎を培います。幼児期の生活のほとんどを占める遊びには、幼児の成長や発達にとって重要な体験が多く含まれています。

The basics of character formation are nurtured in kindergartens through comprehensive guidance emphasizing spontaneous play. Young children spend most of their time playing. This experience contributes to their growth and development.

不登校総合対策の充実 Improvement of Comprehensive Countermeasures against Non-Attendance at Schools

学校におけるカウンセリングなどの教育相談体制の充実を図る ため、臨床心理士を「スクールカウンセラー」として配置し、児童生 徒や保護者、教職員への助言・援助等を行っています。また、不登 校対策の充実を図るため、「学校に登校できるが、教室に入りにく い児童生徒」に対して相談室等で相談・学習支援を行う「心の居場 所サポーター」の配置、「外出はできるが学校には登校できない児 童生徒」に対して学校との連携や学習評価等に関する調査研究を 民間施設に委託する「フリースクール連携推進事業」などを行って います。

So as to improve the educational counseling system at schools, clinical psychologists are assigned to each school as school counselors, giving advice and assistance to students, parents, and teachers as necessary. Furthermore, special support staff members are assigned and engage in academic assistance and consultation in counseling rooms for students who have difficulties being in a regular classroom with other students. We also conduct a programme for students who, while not so-called 'shut-ins,' cannot attend formal schooling. This programme investigates academic standards and cooperation between formal schools and private alternatives, called 'free schools.'

スポーツ活動や芸術文化活動 Sports, Art and Cultural Activities

運動・スポーツをする習慣を身に付けるために

Cultivating Sports and Exercise Habits



なぎなた部(府立南陽高校)

子どもたち一人一人が、運動やスポーツをする習慣を身に付け、自己の体 力を向上させることができるよう、運動や身体動作の獲得状況を誰もが簡 単に把握することができる府独自の指標「京の子ども元気なからだスタン ダード」等を活用した取組を進めています。

また、府立乙訓高校スポーツ健康科学科や府立高校普通科第Ⅲ類体育系 では、授業や運動部活動において、スポーツドクターやトレーナー、コーチ などによる専門的指導を取り入れるなど、将来のスポーツリーダーとして活 躍する人材を育成しています。

By utilizing the 'Kyoto Children's Physical Health Standard,'a guideline unique to Kyoto Prefecture, we promote programmes that allow all students to easily understand the state of their athletic and exercise abilities. This encourages each student to form good exercise habits, enjoy sports, and improve his or her overall physical strength.

In the Sports Physiology Course in Otokuni Senior High School and the physical education courses in prefectural senior high schools, schools invite sports doctors, trainers, and coaches to offer specialized guidance to students in order to foster future leaders in sport.

京都府スポーツ振興計画 Kyoto prefecture sports promotion plan

平成16年3月、今後10年間にわたる京都府のスポーツ振興 の指針となる「京都府スポーツ振興計画」を策定しました。こ の計画では、総合型地域スポーツクラブの手法を活用して「生 涯スポーツ社会」の実現を図ることとしています。

そうした中、府内各地でクラブの創設・育成が進んでおり、 府立高校においても学校の特色を活かしながら地域と連携し たクラブが設立されています。

平成21年4月にさらなるスポーツの広がりを目指して、中間 年の改定を行いました。

In March 2004, we formulated the guiding principles of sports promotion in the prefecture over the next 10 years: the 'Kyoto prefecture Sports Promotion Plan.' With this plan, we aim to foster a society that embraces life-long involvement in sports by utilizing comprehensive local sports clubs.

In accordance with this plan, sports clubs have been established and expanded in local communities. Prefectural senior high schools collaborate with local communities to promote sports club activities by utilizing the schools' individual athletic strengths.

In April 2009, we revised the plan to foster further expansion of sports activities.

文化の力をはぐくむ「京育」推進

Nurturing cultural power – promotion of 'kyoiku' (Kyoto-style cultural education)

平成18年度開催の第30回全国高等学校総合文化祭「京都総文」の成果をも とに、高校の文化系部活動を活性化させ、京都の伝統文化を次の世代へ引き継 ぎ、その活動を地域の皆さんや小・中学生に伝える「文化の力をはぐくむ『京育』 推進事業」を平成19年度から実施しています。これにより、小・中学校や地域の 皆さんとの交流を積極的に行い、平成23年に京都で開催される第26回国民文 化祭に向けて芸術文化活動の振興を図ります。

Based on the success of the 30th National Senior High School Cultural Festival in 2006, we initiated the Kyoto-Style Cultural Education Project for the Cultivation of Cultural Power in 2007. With this project, we revitalize the cultural activities of senior high schools in order to allow for various kinds of traditional Kyoto culture to be passed on to future generations through exchanges between senior high school students and local residents. This initiative also includes junior high and elementary school students. Through these active exchanges, the promotion of art and cultural activities will be strengthened during the lead-up to the 26th National Culture Festival, which will take place in Kyoto in 2011.



地元中学生との交流対局(府立桃山高校

文化財保護 Protection of Cultural Properties

京都の伝統文化の承継 ~心と技を伝える~

Passing on Kyoto's Tradition and Culture **Transmitting Spirit and Skills to Future Generations**

文化財の修理、防火施設の設置や後継者育成などに対して 補助を行うなど、文化財を後世に伝えるよう努めています。府 内の歴史・考古・民俗資料がいっぱいのふるさとミュージアム 山城・丹後(府立山城・丹後郷土資料館)では、展示のほか伝 統文化の体験教室も開催しています。

Every effort is being made to pass on our cultural properties to future generations by providing special subsidies for the repair of cultural assets, the installation of fire prevention facilities, and the training of new craftsmen, etc.



京都府文化的景観 向日市西ノ岡の竹の径・竹林景観

■国指定・登録文化財(平22.5.1)

Number of Cultural Properties Designated & Registered by the National Government (As of May 1, 2010)

区分				京都府				全国			
種別	国宝	重文	計	登録	国宝	重文	計	登録			
美術工芸品	i	絵 画		43	466	509		158	1804	1962	
Arts and Crafts	Į.	彫 刻		37	368	405		126	2513	2639	
	書跡・典籍・古文書			80	740	820	_	282	2319	2601	1
	工芸品			15	163	178	1	252	2167	2419	2
	考古資料 歴史資料			3	24	27	-	44	528	572	2
				ı	15	15	1	2	155	157	5
建造物	,	件 数		(48)	287	287	338	(215)	2359	2359	7855
Buildings	棟(基)数		(60)	586	586		(263)	4339	4339		
記念物	特別史跡名勝天然記念物		(14)		ı	(161)			51		
Memorials	史跡名勝天然記念物			131			2893			51	
重要無形文化財	保持者(保持団体	芸能	件数		3			51			/
Important Intangible			人(団体)		3			70			
Properties		工芸技術	件数		10			56			/
	体	技術	人(団体)	11			69				
重要民俗文化財	重要民俗文化財 有 形 Important		形	5				210			16
Folklore			10				266				
重要文化的景 Important Cultural	1				19						
重要伝統的建造物群保存地区 Historical Architecture Preservation Areas				7				86			
選定保存技術	保持者		件数	17		47			/		
Selected Preservation	木1寸	ਹ'⊟	人		18			52			
Techniques	但方面	田体	件数		7			29			
	保存団体		団体	7				31			/

[※]注 建造物には国宝と重要文化財の両者で一件とするものがあるので重要文化財の数に国宝を含めた。 史跡名勝天然記念物の件数には、特別史跡名勝天然記念物を含めた。

■京都府指定·登録文化財(平22.4.1)

Cultural Properties Designated & Registered by the Prefectural Government (As of April 1, 2010)

種別	_	区分	指定	登録	計		
美術工芸品	;	絵 画	52	8	60		
Arts and Crafts	J	彫 刻	44	8	52		
		工芸品	39	9	48		
	į	書跡・典籍	14	1	15		
	i	古文書	35	8	43		
		考古資料	21	1	22		
		歴史資料	13	1	14		
		計	218	36	254		
建造物	1	件 数	101	82	183		
Buildings	7	棟(基)数	289	137	426		
無形文化財	芸	件数	9	-	9		
Intangible Properties	工芸技術	保持者(団体)	10	1	10		
	芸能	件数	1	-	1		
	能	保持者(団体)	2	ı	2		
民俗文化財		有 形	1	12	13		
Folklore	****	無形	18	70	88		
		計	19	82	101		
史跡名勝		史 跡	22	ı	22		
天然記念物 Memorials	:	名 勝	17	1	18		
	Ŧ	然記念物	15	5	20		
		計	54	6	60		
文化財環境保全 Cultural Environmen		決定 68					
選定保存技術	1	件 数		選定 2			
Techniques	保持	者及び保存団体		認定 3			
文化的景観 🕜		選定 7					
合 計 Tota	ı	指定 402 登録 206	685				

※注 建造物の棟(基)数並びに無形文化財及び選定保存技術の保持(保存) 団体の認定件数は合計に含めない。

○ 府民の信頼を高める学校づくり

5 がんばる先生・支援プラン Project to Support Excellence in Our Teachers

意欲・情熱を持った教員の育成

Supporting enthusiastic teachers who are committed to their work

「教師力」の向上を目指す研修の改善・充実 Programmes to Improve Teaching Ability

府民の期待に応えられる「高い指導力」、「豊かな人間性」、「広い社会性」、「高度な専門性」を持った教員の育成と教員の大量退職・採用時代の到来により生じる喫緊の課題に対応するため、京都府総合教育センターの機能充実を図り、単位制履修制度を導入し、教職員の資質能力の向上、学校組織の活性化に向けた研修体系の見直しを図っています。さらに研修内容では、地元京都の大学や大学院、民間企業等との連携を強めながら、現地現場性を踏まえた出前講座を充実させていきます。

With the nearing approach of teachers retiring en masse, it is necessary to cultivate young faculty who have effective teaching abilities, high levels of expertise, well-rounded characters, and social skills. To achieve this goal, we have started to improve the functions of the Kyoto Prefectural Education Center and review the teacher training system towards improving teacher quality and vitalizing school organization. Furthermore, in regards to training programmes, we implement special programmes in collaboration with universities (both undergraduate and graduate courses) and private enterprises in Kyoto while taking the need of the local schools into consideration.

教員の資質を高める新しい人事管理システム New Personnel Management System

意欲と情熱をもって熱心に取り組む教職員の努力に 報い適切に評価する一方で、指導力に課題がある教員 には厳正な対応を行う人事管理システムを導入し、教 員の資質能力の向上に努めています。

京都府教育委員会では、平成18年度から全府立学校、市町(組合)立小・中学校で教職員評価制度を実施しています。

To improve teacher quality, a new personnel management system has been introduced to duly reward enthusiastic teachers and also to take meaningful authoritative action when teachers fail to perform professionally.

School staff evaluations are implemented in all prefectural schools and municipal elementary and junior high schools.

次代の教育を担う教員の養成 The Training of Teachers

全国に先駆け、大学との協働による教員養成プログラムとして、教員志望者の学生を対象に、教員としての実践力を養成するインターンシップ「教員養成サポートセミナー」を実施しています。

また、京都府の小中学校教員を目指す学生に、学校の優れた実践を学ぶ場を提供し、将来の京都府の教員として活躍できる資質を高める「教師力養成講座」を開講するなど、今後の学校教育を支える人材の育成に取り組み、府民から信頼される学校づくりを進めています。

Kyoto Prefecture's teacher training programmes, held in collaboration with universities, are the first of their kind in the country. Aimed at aspiring teachers, these programmes offer university students a chance to develop skills and experience in the classroom through internships.

By offering a chance for aspiring elementary and junior high school teachers to learn first-rate educational practices and by holding teacher training seminars to improve the quality of Kyoto Prefecture's future teachers, we hope to develop human resources that will support school education while earning the trust of the local community.

6 安心・信頼の学校推進プラン

Projects to Develop a Safe and Secure School Environment

保護者や地域社会に信頼される学校づくりの推進

Building schools that win the trust of parents and the community

安心・安全な教育環境づくり

Establishing Safe and Secure Learning Environments

児童生徒が安心・安全で快適な学校生活を送ることができるよう、 府立学校の改築や屋上防水工事、設備改修工事等を計画的に行って います。特に、校舎などの耐震化工事については引き続き最重点課題 と考え、早期かつ計画的な実施に努めていきます。

To ensure students' safety and security at school, reconstruction, the waterproofing of rooftops, and the repair of facilities are planned and being carried out. Priority has continued to be given to the rapid and systematic seismic retrofit of school buildings.

学校の安全管理の整備・充実 Improving School Security

各学校(園)における防犯教室・訓練の実施や、学校(園)独自の危機管理マニュアルの改善を推進するとともに、子どもたちの安全確保を図るため、地域住民・保護者・ボランティア等と連携した危機管理体制を確立し、各学校(園)でいっそう危機管理意識が高まるよう努めています。

We encourage each educational institution to perform crime prevention drills and to make improvements to their crisis management manual. In addition to school procedures, we make efforts to set up crisis management systems in cooperation with local residents, parents, volunteers, etc., and encourage individual schools and kindergartens to raise awareness of crisis management in order to ensure students' safety.

評価と公開を軸とした学校づくり Keys to Improving School Performance:

Evaluation and Information Disclosure

京都府教育委員会では、全府立学校、市町(組合)立小・中学校で「学校評価」の取組を推進しています。

この評価は、学校が保護者や地域の人々の願いや期待をしっかり受け止め、これに主体的に応えていくためのシステムを確立するため、児童生徒や保護者のアンケート等も活用し、教育活動その他の学校運営の状況について点検し、改善と発展を目指す仕組みです。

また、子どもの健やかな成長を図っていくという観点から、その結果について公表し、学校関係者や第三者の評価を取り入れながら、家庭や地域社会と連携・協力してより一層地域社会に開かれ信頼される学校づくりを推進しています。

We promote the implementation of school evaluations in all prefectural schools and municipal elementary and junior high schools.

The school evaluation system allows each school to understand their own performance and to respond to the wishes and expectations of parents and communities. We utilize the results of questionnaires answered by students and parents to review educational activities and school management for the improvement of school performance.

To facilitate children's healthy growth we also disclose the results of the review, including evaluation results by school staff and a third party. This is in order to build cooperation with families and the local area, thus creating trustworthy schools open to the community.

□ 家庭・地域社会の教育力の向上

7 子育で・コミュニティ育成プラン

Project to Assist Child Rearing within the Community

家庭・地域社会との連携強化

Stronger ties between families and local communities

家庭の教育力の向上

Improving Educational Function of the Family

すべての教育の出発点である家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭の教育機能を高めるため、子どもののぞましい生活リズムを地域全体ではぐくむ「早寝・早起き・朝ごはんプラスワン」運動の推進や就学前の子どもを持つ親を支援する「親のための応援塾」を府内の全小学校で開催しています。

また、24時間対応の教育相談窓口を設置するなど、いじめや不登校、子育てについての悩みや不安を持つ子どもや保護者に対する相談体制の整備に努めています。

We hold child-rearing support classes in all elementary schools in Kyoto Prefecture for parents. Here, they learn lessons regarding child rearing and lifestyle, including good sleeping and eating habits ("early to bed, early to rise, and a healthy breakfast"). This is a part of efforts to help parents see home education as the basis for all other education.

Furthermore, a round-the-clock counseling service to consult about problems such as bullying, nonattendance, and worries about child rearing was established and is in operation for both children and parents.



上: 出前親のための応援塾 (木津川市立加茂小学校) 下: 親のための応援塾 (精華町立山田荘小学校)

社会総がかりで子どもを育てる環境づくり

Facilitating Society-Based Child Rearing

学習支援や部活動支援の実施など、地域住民の力により学校の教育活動を支援する体制を整備する「地域で支える学校教育推進事業」を推進するとともに、土曜日・放課後などにおける子ども達の学習活動や体験活動等の一層の充実を図るため、「京のまなび教室」の開催支援や、障害のある子どもも一緒に体験に取り組む「京のわくわく探検事業」を実施しています。

また、府民の多様な学習ニーズに応えるため、府立学校の教育機能の特性を活かし、「府立高校サタデー広場活動事業」で、子どもから大人までの学習・体験活動をはじめ生涯学習講座を実施しています。

地域社会と協働し、様々な学習活動や体験活動をとおして地域力 の再生をめざすとともに、社会総がかりで子どもを育てる環境づく りを進めています。



そば打ち(与謝野町 野田川地域まなび教室)

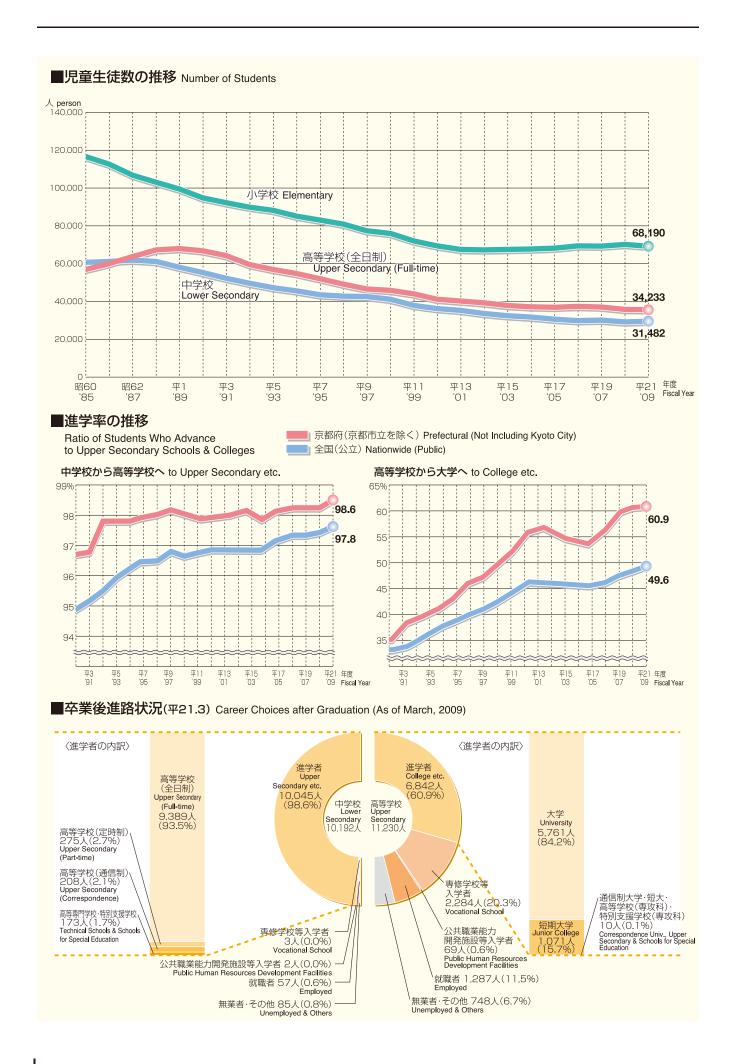


人形浄瑠璃(京丹波町立和知小学校地域教育協議会)

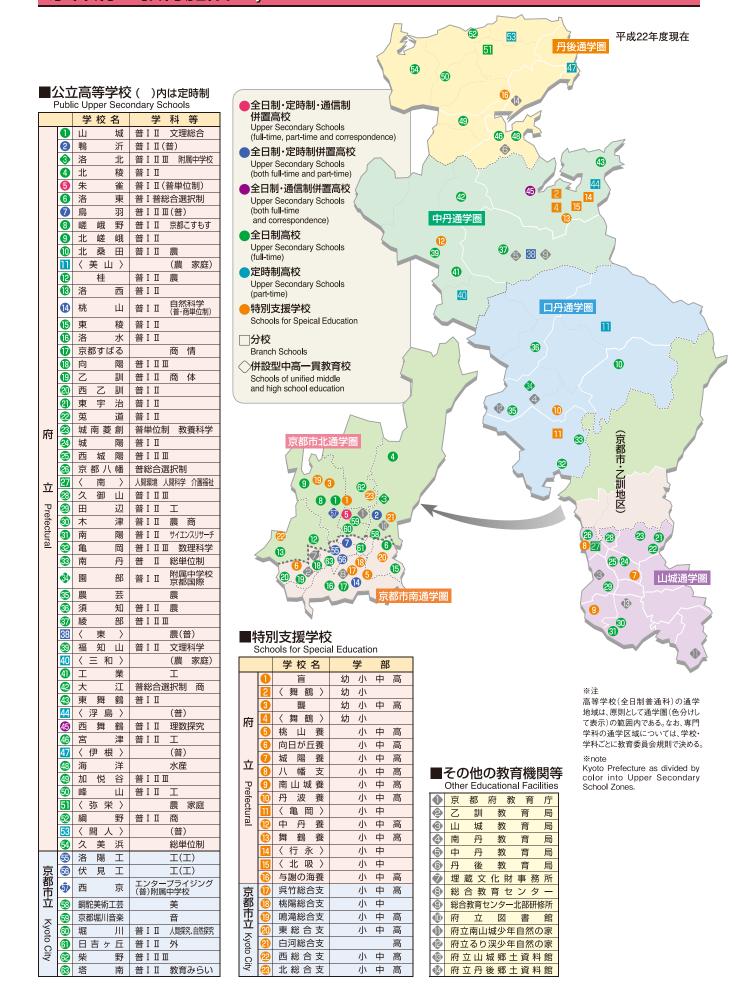
Kyoto Prefecture is promoting a community-based support programme in order to maintain the system by which local residents support educational activities like school clubs and academics. At the same time, we lend support to the 'Kyoto learning classroom' and hold 'exploration of Kyoto' programmes where disabled children take part in hands-on activities with non-disabled children. In this way, we can enhance children's educational and hands-on activities on Saturdays and after school.

In addition, so as to accommodate the various academic needs of both children and adults in the prefecture, we utilize the resources and educational capabilities of prefectural schools to hold lifelong learning seminars, called 'Prefectural Senior High School Saturday Plaza Projects.'

In cooperation with residents of the entire prefecture, we try to revitalize the power of the local community to create an ideal environment for child rearing.



京都府の教育施設 Kyoto Prefectural Public Education Institutions



-覧 General Survey Of Schools

平成21年5月1日現在 (As of may 1, 2009)

区 分 Classification			Num	学校数 nber of Sch	ools	学級数	園児・児童・生徒数 Number of Students			本務教員数 Number of Teachers		
			本 校	分校 Branch Schools	計 Total	Number of Classes	男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total
		公 立①	68	_	68	221	2,290	2,195	4,485	8	367	375
幼稚園 Kindergartens	小 雅周	京都市を除く③	51	_	51	173	1,820	1,724	3,544	3	293	296
		京都市立 ④	17	<u>-</u>		48	470	471	941	5	74	79
		国 立 ⑤	1	_	1	5	69	69	138	1	6	7
	ŭ	私 立 6	162	_	162	1,153	13.170	13,140	26,310	116	1,703	1,819
	計	231	_	231	1,379	15,529	15,404	30,933	125	2,076	2,201	
		公 立①	429	5	434	5,522	69,574	65,996	135,570	3,094	5,349	8,443
		京都市を除く③	248	2	250	2,909	34,938	33,252	68,190	1,658	2,848	4,506
	小学校	京都市立 ④	181	3	184	2,613	34,636	32,744	67,380	1,436	2,501	3,937
	小子な ntary Schools	国 立 ⑤	2	_	2	31	489	489	978	23	24	47
	,	私 立 6	9	_	9	125	1,801	2,380	4,181	109	124	233
		計	440	5	445	5,678	71,864	68,865	140,729	3,226	5,497	8,723
		公 立①	176	1	177	2,204	32,282	30,307	62,589	2,772	1,863	4,635
		府立②	2	_	2	2,204	151	206	357	31	1,803	4,033
			98	<u>-</u>	98	1,071				1,409	960	2,369
	中学校 er Secondary	京都市立 ④	76	1	 77	1,124	16,001 16,130	15,124 14,977	31,125 31,107	1,409	884	2,309
	Schools	国 立⑤	2	_	2	22	393	396	789	26	22	48
		私立⑥	25	_	25	266	3,622	5,024	8,646	329	212	541
		和 <u>工</u> (6)	203	1	204	2,492	36,297	35,727	72,024	3,127	2,097	5,224
		公 立①	55	3	58	1,061	19,880	20,106	39,986	2,206	890	3,096
		<u>ガーサリ</u> 府 立②	46	3	49	907	16,825	17,408	34,233	1,825	717	2,542
	A 17 MI	京都市立 ④	9		9	154	3,055	2,698	5,753	381	173	554
	全日制 Full-time	国 立⑤	1	_	1	154	295	309	604	28	8	36
	ruii-tiine	私 立 6	39	_	39		13,523	13,939	27,462	1,258	518	1,776
高等		計	95	3	98		33,698	34,354	68,052	3,492	1,416	4,908
学校		公 立①	⟨7⟩ −	<1> 5	(8) 5	93	1.114	645	1,759	198	61	259
Upper	定時制 Part-time 通信制	府立②	(4) -	(1) 5	(5) 5	69	815	550	1,365	128	47	175
Secondary Schools		京都市立 ④	(3) -		(3) -	24	299	95	394	70	14	84
SUIIOUIS		私立⑥	2	_	2		166	295	461	23	9	32
		計	⟨7⟩ 2	<1> 5	(8) 7		1,280	940	2,220	221	70	291
		府 立②	(2) -	(1/)	(2) -		594	605	1,199	24	12	36
		私 立⑥	(3) -	_	(3) -		153	171	324	16	5	21
	Correspondence	和 <u>工</u> ①	(5) -	_	(5) -		747	776	1,523	40	17	57
		公 立①	17	5	22	667	1,404	813	2,217	704	928	1,632
	W-L-1=3244	府立②	10	5	15	415	806	481	1,287	420	613	1,032
特別支援学校 Schools for Special Education		京都市立 ④	7		7	252	598	332	930	284	315	599
	•	国 立⑤	1	_	1	9	44	22	66	13	18	31
		計	18	5	23	676	1,448	835	2,283	717	946	1,663
合 計 Total		公 立①	745	19	764	9,768	127,138	120,667	247,805	9,006	9,470	18,476
		府立②	58	13	71	1,400	19,191	19,250	38,441	2,428	1,408	3,836
		京都市を除く③	397	2	399	4,153	52,759	50,100	102,859	3,070	4,101	7,171
		京都市立 ④	290	4	294	4,103	55,188	51,317	102,639	3,508	3,961	7,171 7,469
		国 立⑤	7	4	7	4,210	1,290	1,285	2,575	91	78	169
		私立⑥	237		237		32,435	34,949	67,384	1,851	2,571	4,422
			989					156,901	317,764		12,119	23,067
(注1) 「…」(+ 非調本項目		計	989	19	1,008		160,863	106,901	317,/64	10,948	12,119	23,06/

⁽注1) 「…」は、非調査項目

is non-investigated item. 〈 〉:Part-time existed with Full-time

「第26回国民文化祭・京都2011」



⁽注2) 区分の「京都市を除く③」は、京都市立学校を除く府内市町(組合)立学校を表す。 (注3) 高等学校の学校数で、〈 〉内は全日制と併置している学校数を表し、外数である。 ※note ① Public ② Prefectural ③ Not Including Kyoto City ④ Kyoto City ⑤ National ⑥ Private